

ドライブレコーダー

取付説明書／取扱説明書／保証書

HDR-351H/HDR-352GH

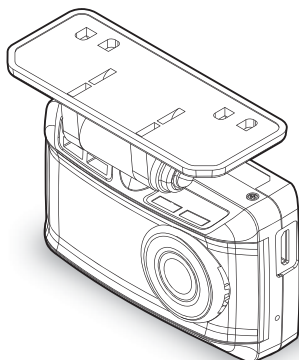
お買い上げ時の液晶表示は、次のように設定されています。

【HDR-351Hの場合】

起動時および本体操作を行なった後、30秒点灯し、その後消灯します。

【HDR-352GHの場合】

起動後10km/h以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。また停車後は【メニュー/戻る】を押すことで再表示を行います。(⇒P52)

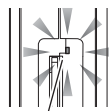


この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができるよう保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

エンジンをON（車両キースイッチをACCまたはON）にした状態でmicroSDHCカードの抜き差しを行わないでください。microSDHCカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチをOFF後microSDHCカードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSDHCカードの抜き差しを行なってください。



microSDHCカード
アクセスランプ

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDHCカードを抜いて保管してください。

購入後1ヶ月以内に補償サービスへ登録しなかった場合、補償サービスは受けられませんのでご注意ください。

COMTEC

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

設定

駐車監視機能
を使用する

リーダー探知機
と接続する

その他

目次

目次	2	設定	45
はじめに	3	設定方法	45
安全上のご注意	3	設定内容一覧	46
ご使用上のお願い	5	駐車監視機能を使用する (オプション)	56
知っておきたいこと	7	駐車監視機能について	56
新しい microSDHC カードを 使用する場合について	8	駐車監視モードの動作について	57
microSDHC カードの 取り出し方について	9	駐車監視モードに切替える	58
梱包内容	10	駐車監視モードを終了する	59
本体各部名称	11	駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方	60
別売オプション	12	レーダー探知機と接続する	61
取付方法	13	相互通信機能とは	61
取付手順を確認する	13	レーダー探知機との接続	62
シガープラグコードを接続する	13	相互通信の確認をする	64
日時を設定する	14	レーダー探知機での操作方法	65
取付位置を確認する	15	相互通信と 駐車監視・直接配線ユニット	66
本体を取付ける	16	付録	69
動作を確認する	21	よくあるご質問	69
映像を撮る	23	LED ランプ確認表	70
映像の記録について	23	オートディママー機能	70
電源を ON にする	29	メッセージ一覧表	71
電源を OFF にする	29	製品仕様	72
リセットスイッチについて	29	補償サービス	73
映像を見る	32	補償サービスについて	73
本体で映像を再生する	32	ドライブレコーダー 補償サービス利用依頼書	77
ナビゲーションで映像を再生する	34	保証規定	79
パソコンで映像を再生する	35	HDR-351H/HDR-352GH 保証書	裏面
パソコンで録画データを 保存 / 削除する	40		
地図表示について 【対応機種：HDR-352GH】	42		
保存ファイルを開く	43		
車両情報を表示する	44		
ファームウェアを更新する	44		





安全上のご注意





ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。


警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSDHC カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとうデータの破損、故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
	一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れしないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しない場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。【対象機種：HDR-352GH】
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、付属のビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。
（ただし microSDHC カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

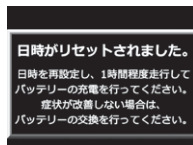
- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また、使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的に microSDHC カードをパソコンでフォーマット、または本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDHC カードをパソコンでフォーマットすると専用ビューソフトおよび記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

- ・本製品は日時情報を保持するために本体内部にバッテリーを搭載しています。
- ・初めて使用する場合や長期未使用（6ヶ月以上）の場合は、1時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- ・内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても右記メッセージ画面が表示される場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。



HDR-352GH をご使用の方は下記 GPS に関する内容もご参照ください

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

はじめに

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAvigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

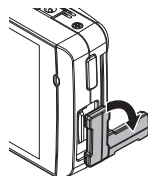
GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

新しい microSDHC カードを使用する場合について

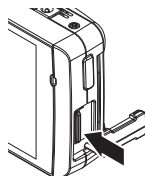
- ・新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する際は必ず、本体で SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P55)
- ・パソコンで microSDHC カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。
URL : https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/index.html
※フォーマットをすると、microSDHC カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。
- ・専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うこともできます。

microSDHC カードの取り出し方について

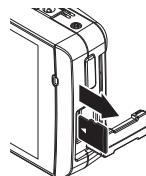
- microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出てきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- 駐車監視モード中は P60 を参考に取出してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、

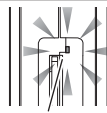


少し飛び出てきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

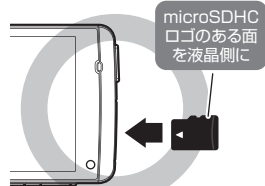
- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。



microSDHC カード
アクセスランプ

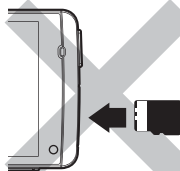
- microSDHC カードをドライブレコーダー本体・スロットに差し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、microSDHC カードスロットの破損や microSDHC カード自体の破損の原因となります。
- microSDHC カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSDHC カード破損の原因となります。
- microSDHC カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。

正しい向き

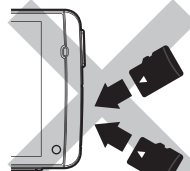


間違い

裏向きに差す



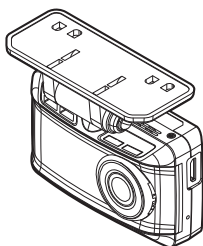
斜めに差す



はじめに

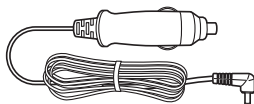
梱包内容

HDR-351H/HDR-352GH 本体



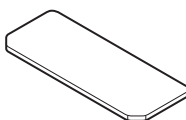
付属品

シガープラグコード
(約4m/1Aヒューズ内蔵)

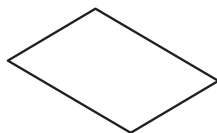


※HDR-352GHPには
同梱されていません。

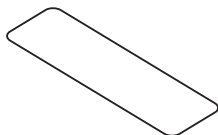
取付ステー固定用
両面テープ (1枚)



脱脂クリーナー (1枚)



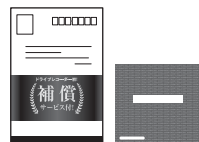
ステッカー (1枚)
(150 × 42mm)



六角レンチ (ステー角度調整用)
(2.5mm/1個)



補償サービス登録ハガキ (1枚)
(プライバシー保護シール付属)



microSDHC カード
(8GB/1枚)



※出荷時本体に
セットされています。

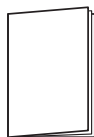
SD カード変換アダプター
(1枚)



コードクランプ
(3個)



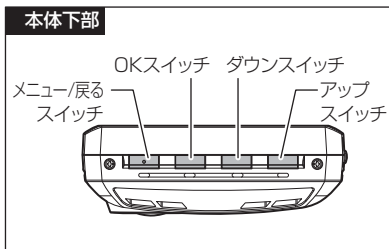
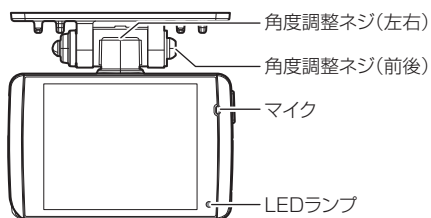
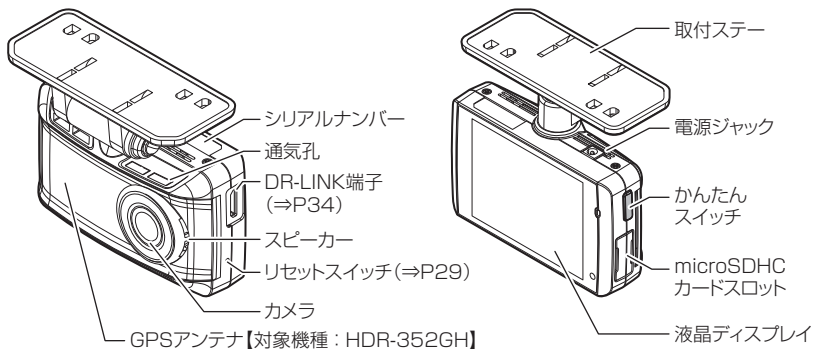
取扱説明書
(本書 / 1冊)



👉 アドバイス

付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体で SD カードの初期化 (⇒ P55) を行ってください。

本体各部名称



はじめに

別売オプション

品名	使用目的 / 仕様	品番	
ドライブレコーダー用 取付ステーセット (六角タイプ)	取付後の見た目がスッキリする、角度調整ネジが六角ネジの取付ステー ※両面テープ・脱脂クリーナー・六角レンチ付属	HDROP-01	
ドライブレコーダー用 取付ステーセット (ノブタイプ)	角度調整が簡単な、角度調整ネジが手回しノブの取付ステー ※両面テープ・脱脂クリーナー付属	HDROP-02	
駐車監視・ 直接配線ユニット	車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。また車両から直接電源を取るため、付属の電源コードやシガープラグコードを別途接続する必要はありません。	HDROP-05	
ステッカー [ドライブレコーダー 搭載車]	サイズ：150(W) × 42(H)/mm 1 枚入り	HDROP-06	
ステッカー [駐車監視中]	サイズ：62(W) × 36(H)/mm 2 枚入り ※透明ステッカーに白色印刷タイプ	HDROP-07	
microSDHC カード	メモリ容量：8GB / 16GB / 32GB メモリタイプ：MLC スピードクラス：class 10	8GB	HDROP-08
		16GB	HDROP-16
		32GB	HDROP-32
AV ケーブル	本製品をナビゲーションなどで再生するためのケーブルです。(ケーブル長：約4.0 m)	HDROP-10	
HDR-352GHP/ 352GH/351H 専用カラーパネル	本体のフロントパネルを交換することで、ドライブレコーダー本体をお車に合わせたカラーへカスタマイズすることができます。	カーボン柄	HDROP-11CB
		レッド	HDROP-11RE
		ブルー	HDROP-11BL
		オレンジ	HDROP-11OR
		ピンク	HDROP-11PI
		ボルドー	HDROP-11BO
AC アダプター	本製品の電源を家庭用 (AC100V) コンセントから取ることが出来ます。	SS-065	
直接配線コード	ドライブレコーダー本体の電源を直接車両から取る際に使用します。(ケーブル長：約4.0 m)	ZR-01	
ドライブレコーダー 相互通信ケーブル	弊社対応レーダー探知機と接続することで本製品の映像をレーダー探知機の液晶で表示を行ったり、本製品の操作をレーダー探知機で行うことができます。また GPS 情報や OBD II 情報の通信も可能です。(ケーブル長：ZR-13/約 4.0m ZR-14/約 0.4m)	ZR-13 ZR-14	

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P13)

日時を設定する (P14)

車両に本製品を取付ける (P16 ~ P19)

動作確認を行う (P21 ~ P22)

本体の液晶で映像を確認する
(P32 ~ P33)

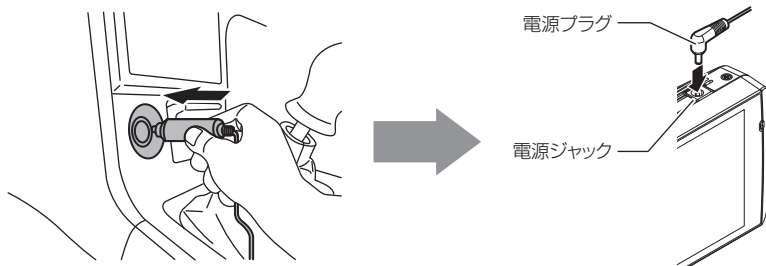
パソコンで映像を確認する
(P35 ~ P37)

終了

取付け

シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込み、本体の電源ジャックに電源プラグを差し込んでください。



※ HDR-352GHP は付属駐車監視・直接配線ユニットの取扱説明書をご確認ください。

取付方法

日時を設定する

車両に本体を取り付ける前に日時設定を行なってください。

- ※ 正確な日時情報で映像に記録するために1ヶ月に一度は日時を設定し直してください。
- ※ 本製品は日時情報を保持するために本体内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。

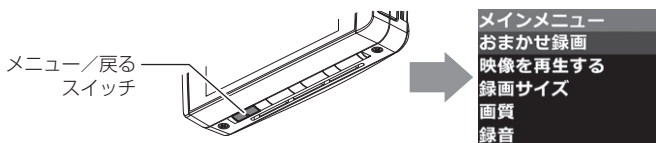
👉 アドバイス

[HDR-352GH] の場合

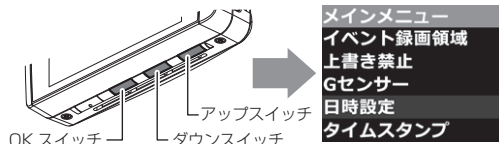
- ・エンジン始動後、GPS衛星を受信すると次の録画ファイルに切替わるタイミングで、自動的に時刻を補正します。
- ・GPS衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

設定方法

- 1) 【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】を表示する

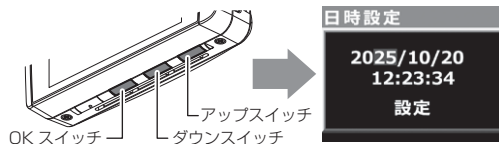


- 2) 【アップ】【ダウン】を押し【日時設定】を選択し、【OK】を押す



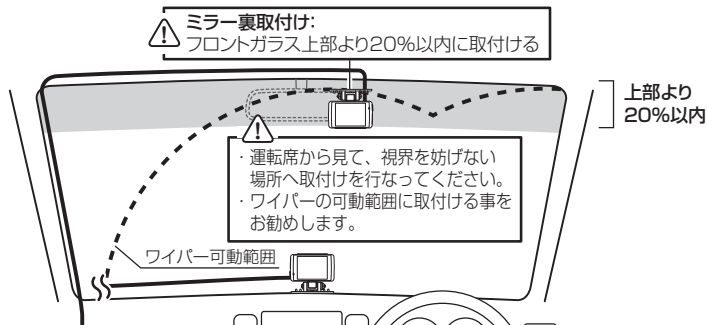
- 3) 【アップ】【ダウン】で設定し、【OK】で次の項目に移動します。日時変更後【設定】で【OK】を押す

※ 【設定】で【OK】を押した時点で日時が設定されます。



取付位置を確認する

本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



取付け

⚠ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
- ※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本体の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。
- ・HDR-352GHの場合、本体カメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

取付方法

本体を取付ける

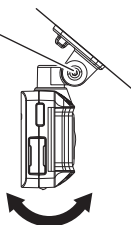
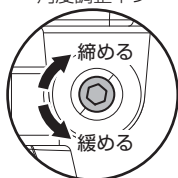
※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1) ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、本体の取付角度を調整します。調整後にネジを締めます。

- ・ 本体ステー部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながら本体が地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・ 角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

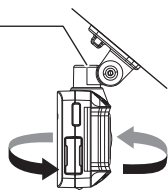
■前後の調整

角度調整ネジ



■左右の調整

角度調整ネジ



⚠ 注意

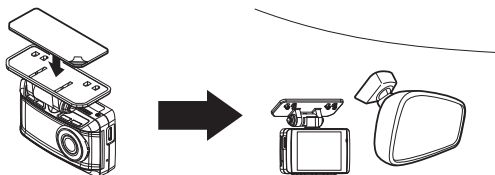
- ・ 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ 角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

👉 アドバイス

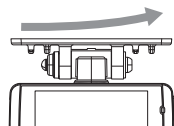
- ・ 液晶表示が消えた場合、【メニュー / 戻る】スイッチを短押しすることで30秒間液晶が再表示されます。(液晶表示が速度連動で走行中は除く) (⇒ P52)
- ・ 撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・ カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・ 広角レンズを採用しているため、ステー取付角度によって、画面両端上に取付ステーが映り込むことがあります。あらかじめご了承ください。

- 2) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



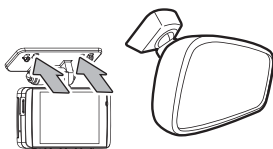
アドバイス

- ・ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼り付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
※一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。

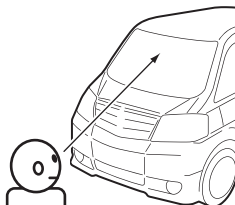


片側から順に
貼り付けていく

- ・貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付け面を
裏側から押さえる。



車外から貼付け面にムラが
ないことを確認する。

◇ステー貼付け面



全体に貼付いている



気泡や色ムラがある

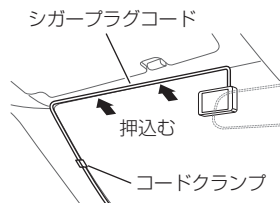
取付方法

剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。**パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。**剥がれの原因となります。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。

3) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

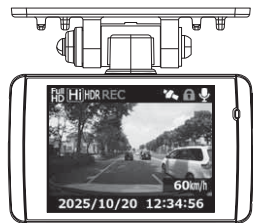
- ※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ※地デジやETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。地デジやETC等の受信感度が低下する恐れがあります。



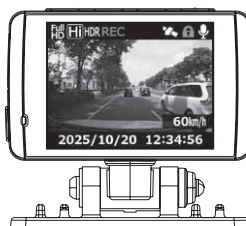
ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合

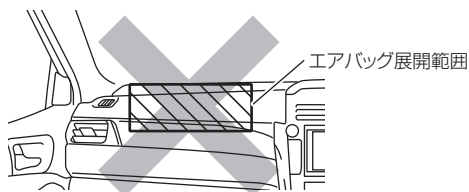


👉 アドバイス

画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行ってからご使用ください。

⚠️ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たる恐れがあります。



- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損する恐れがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行ってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、「高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します」のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

高温注意

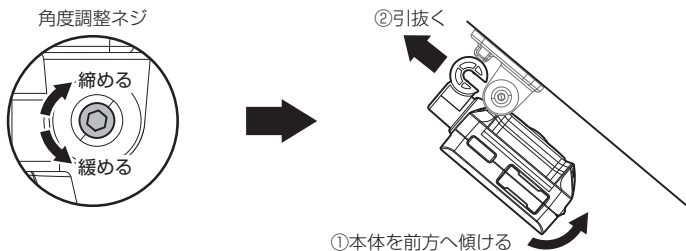
本体温度が下がるまで
録画を停止します

取付方法

本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。

■フロントガラス取外し例



⚠ 注意

- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- 再度取付後は六角レンチで角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

動作を確認する



1.GPS の受信を確認する【対象機種：HDR-352GH】

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



取付け

アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示
	GPS を未受信時に表示

👉 アドバイス

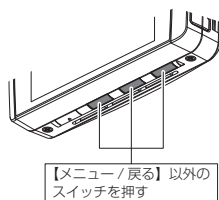
下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

取付方法

2. マニュアル録画の動作を確認する

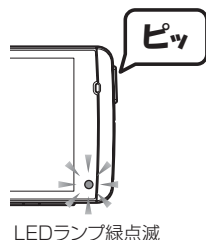
- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【メニュー/戻る】以外のスイッチを押してください。

※かんたんスイッチの設定を [録画] に設定している場合、かんたんスイッチでもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P50)



- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。

※音声は自動で録音されます。



👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON] になっています。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P47)

3. 記録した映像を確認する

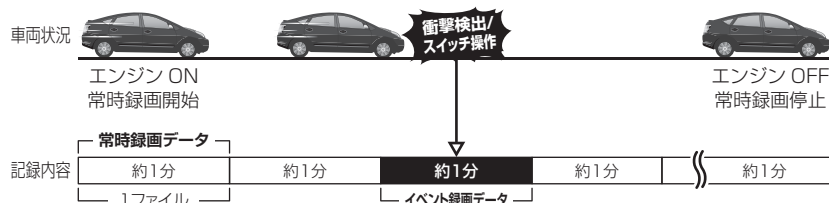
本体で記録した映像を確認してください。(⇒ P32)

《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P48)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。
- ・本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

常時録画について

- ・エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
 - ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ※ 駐車監視常時録画データも常時録画として記録されます。

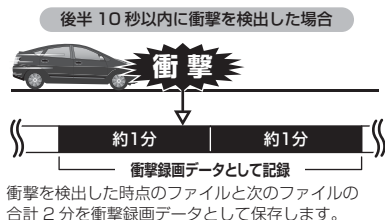
映像を撮る

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P48)

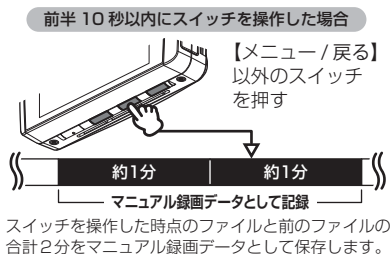
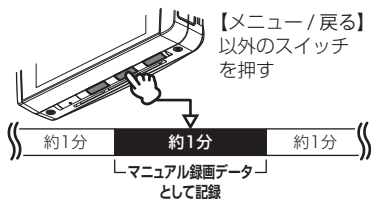
■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・ Gセンサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ0.1G単位で感度調整することができます。(⇒ P48)



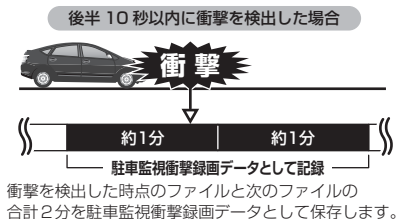
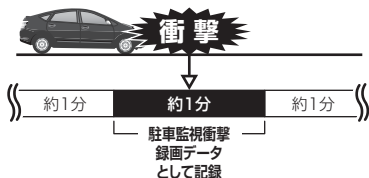
■マニュアル録画データ

- ・本製品のスイッチ（【メニュー/戻る】スイッチ除く）を押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。



■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『駐車監視衝撃録画データ』として記録されます。
- ・駐車監視モード中の G センサーの感度は設定により [高 / 中 / 低] の 3 段階で感度調整することができます。(⇒ P57)



映像を撮る

microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。（下記表は常時録画およびイベント録画を含めた値です）

※ 対応 microSDHC カード：4GB～32GB（class10 推奨）

※ 本製品付属 microSDHC カード：8GB（class10）

録画サイズ	画質	microSDHC カード容量			
		4GB	8GB	16GB	32GB
FullHD	高画質	約 40 分	約 90 分	約 170 分	約 370 分
	低画質	約 60 分	約 140 分	約 280 分	約 600 分
HD	高画質	約 65 分	約 150 分	約 290 分	約 620 分
	低画質	約 115 分	約 270 分	約 510 分	約 1100 分
SD	高画質	約 95 分	約 210 分	約 410 分	約 900 分
	低画質	約 165 分	約 360 分	約 720 分	約 1450 分

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

※ 途中で録画サイズ設定、画質設定を変更して録画した場合は、この限りではありません。

※ イベント録画件数は録画領域の割合が 20%（初期設定）での参考値です。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

⚠ 注意

- ・ 付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体で SD カードの初期化（⇒ P55）を行なってください。
- ・ microSDHC カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 2～3 年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。

録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 70% を常時録画（駐車監視常時録画含む）、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）、10% を駐車監視衝撃録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P47）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・駐車監視衝撃録画の領域は変更することはできません。詳しくは【駐車監視モードの動作について】（⇒ P57）をご確認ください。



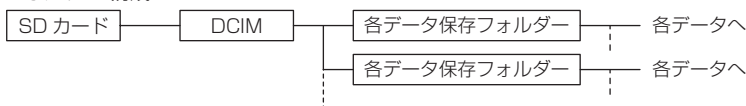
- ※ 衝撃 / マニュアル録画データや駐車監視衝撃録画データがない場合は 100%常時録画を記録します。
- ※ 使用中に録画領域を変更すると、変更前に記録された衝撃 / マニュアル録画データはすべて常時録画データに切替わり、駐車監視衝撃録画データはすべて駐車監視常時録画データに切替ります。

映像を撮る

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、録画を開始した日付をもとにしたフォルダーが自動で作成され、そのフォルダー内に録画データの種類・時間をもとにしたファイル名で保存されます。

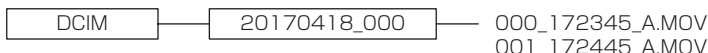
●フォルダー構成



●フォルダーおよびファイル名称は以下の内容で保存されます。

フォルダー名称	録画を開始した	年	月	日	000 ~ 999 まで 連番で保存
		YYYY	MM	DD	_□□□
ファイル名称	録画を開始した	時	分	秒	
		000	HH	MM	SS
		ファイル作成順			A
					.MOV
					録画データ種類
					A : 常時録画データ
					G : 衝撃録画データ
					M : マニュアル録画データ
					P : 駐車監視常時録画データ
					S : 駐車監視衝撃録画データ

例) 2017/04/18 17:23:45 に常時録画を開始した場合

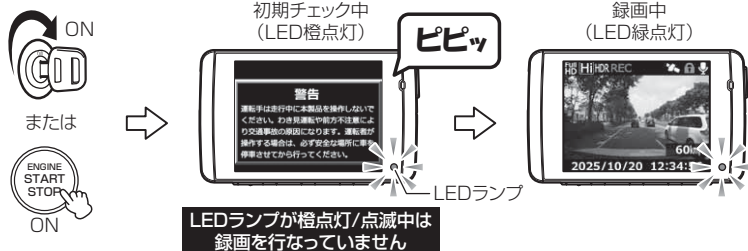


👉 アドバイス

- ・データ保存フォルダーは 200 ファイル保存された時点で新しいフォルダーが作成されます。また、設定メニューに入るなど、一時的に録画を停止した後に再開する際にも新しいフォルダーを作成します。
- ・1 日に作成できるフォルダー数の上限は 1,000 フォルダーです。上限を超えて録画を行おうとすると、「フォルダーがいっぱいになりました SD カードを交換してください」とメッセージ画面が表示 (⇒ P71) され録画を停止します。
- ・1 枚の microSDHC カードに保存できるファイル数の上限は 1,500 ファイルです。上限を超えた場合は、microSDHC カードの容量にかかわらず古い録画データから上書きを行います。

電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



アドバイス

microSD カードチェック機能

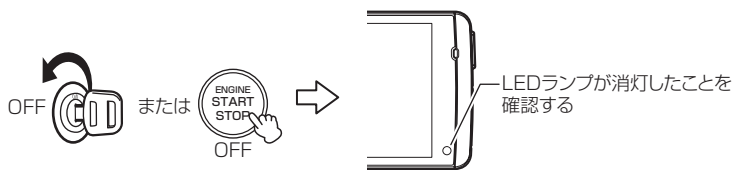
本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P71 を参照ください。

SDカードを
確認してください

電源を OFF にする

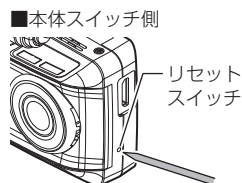
車両キースイッチを OFF にしてください。



リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本体システムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



映像を撮る

録画面面



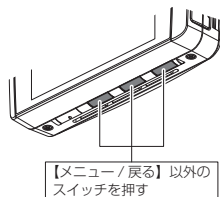
【対応機種:HDR-352GH】
自車の走行速度を表示
※GPS受信時のみ表示

現在の日時を表示

アイコン	表示内容
① Full HD SD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P47)
② Hi Lo	画質の設定を表示 (⇒ P47)
③ HDR WDR	画像補正の設定を表示 (⇒ P51)
④ REC	作動状態を表示
⑤ G M P PG	録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑥	レーダー相互通信時に表示 (⇒ P61)
⑦	GPS の受信状態を表示 ※ HDR-352GH のみ
⑧	上書き禁止の設定内容を表示 (⇒ P48)
⑨	音声録音の設定内容を表示 (⇒ P47)

■ マニュアル録画

- ・録画中に本製品のスイッチ (【メニュー / 戻る】スイッチ除く) を押すと、『マニュアル録画データ』として記録を行います。
- ・設定を変更することにより、【かんたんスイッチ】でもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P50)

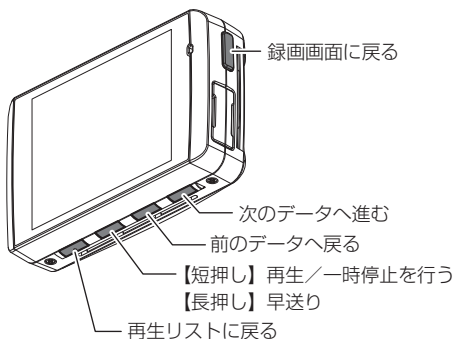


再生画面



	アイコン	表示内容
①	▶ ▶▶	動作状態（再生／一時停止／早送り）を表示
②	Full HD HD SD	録画サイズの設定を表示（⇒ P47）
③	G M P PG	録画種類（衝撃／マニュアル／駐車常時／駐車衝撃）を表示

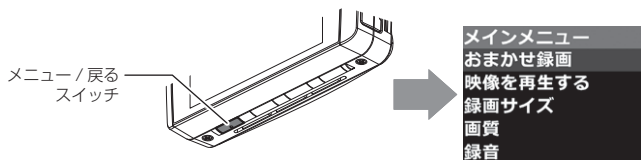
■再生画面での操作



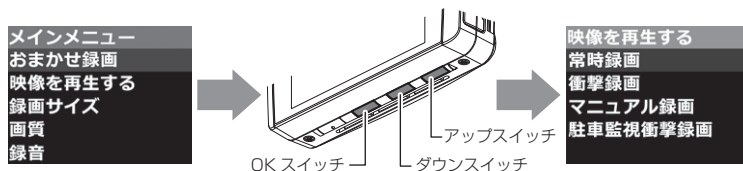
映像を見る

本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する

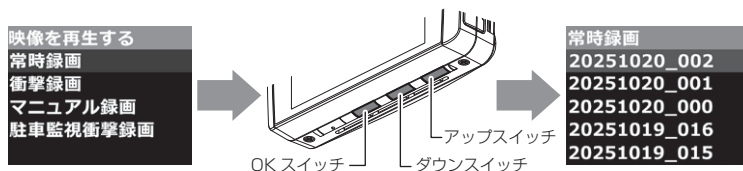


2. 【映像を再生する】を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



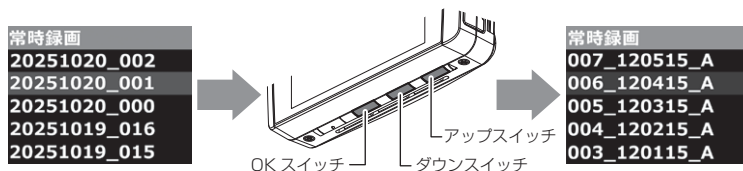
3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- [常時録画]..... 常時録画データを表示
- [衝撃録画]..... 衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画]..... スイッチ操作による録画データを表示
- [駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視中に衝撃検出による録画データを表示

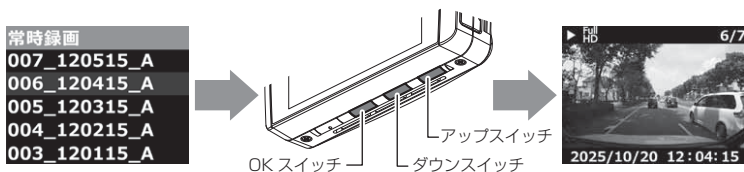


4. 見たいフォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

※フォルダー名称、ファイル名称に関しては P28 をご参照ください。



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります



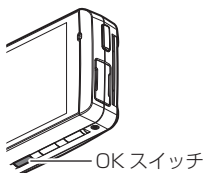
6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

※かんたんスイッチを押すことで録画画面へ戻ることもできます。

アドバイス

映像の一時停止 / 早送り

- ・映像の再生中に【OK】を短押しすると、再生中の映像が一時停止します。再度【OK】を短押しすると映像の再生が再開されます。
- ・映像再生中に【OK】を長押しすると、再生中の映像を早送りすることができます。早送りを解除するには【OK】の短押しで一時停止 / 再生を行ってください。



かんたん再生機能

- ・本製品のかんたんスイッチを押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生することができます。
 - ・再生画面や設定画面中にかんたんスイッチを押すと録画画面に戻ります。
- ※ かんたんスイッチの機能は設定で変更することができます。(⇒ P50)
- ※ パスワードを設定していると「パスワード設定中です」と表示されて再生できません。かんたん再生機能を使用する場合はパスワードを解除してください。(⇒ P54)



映像を見る

ナビゲーションで映像を再生する

本製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションの AV ケーブルで接続することで、本体の液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

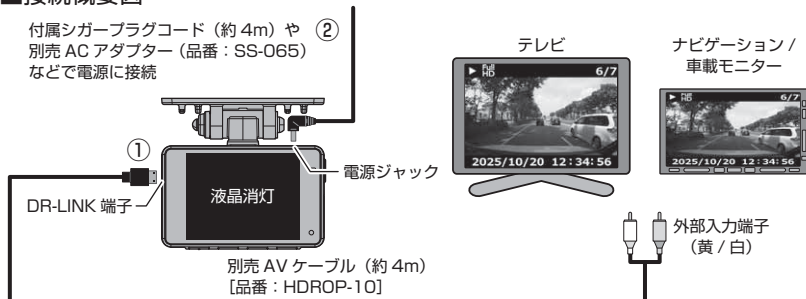
- ※ AV ケーブルは必ず弊社別売オプション品をご使用ください。市販の同形状のケーブルでは表示することはできません。
- ※ AV ケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定 (⇒ P52) の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

⚠ 注意

電源が ON の状態で AV ケーブルの抜き差しを行わないでください。起動中に行くと本体が再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜き差しを行ってください。

映像再生方法

■接続概要図



■再生方法

- 1) 別売 AV ケーブル (品番: HDROP-10) を本体のテレビ接続端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードや別売直接配線ユニット、別売 AC アダプター (品番: SS-065) などを本体の電源ジャックに接続します。(上図 ②)
- 3) P32,33 の手順に従い、記録した映像を再生してください。
(接続したモニターへ映像が表示されます。※本体液晶画面の表示は行いません)

👉 アドバイス

本製品の音声は、本体と外部出力先の双方から出力されますので、本体の音量設定とモニター側の音量を操作して調整を行ってください。

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、付属 microSDHC カード内の専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

アドバイス

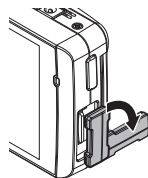
- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨
メモリー: 4GB 以上を推奨
画像解像度: FWXGA (1366 × 768 ピクセル) 以上を推奨
- ※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しないことがあります。
- ・ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードすることもできます。また、パソコンの OS アップデートにより microSDHC カード内のビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・ビューワソフトをダウンロードできない環境の場合、microSDHC カード内のビューワソフトを保存しておくことをおすすめします。

映像を再生する

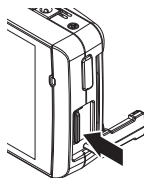
- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P60 を参考に取出してください。

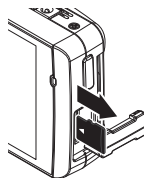
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ・ アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューワソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画(破損データ)を削除してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、

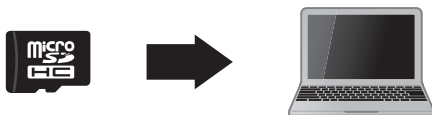


少し飛び出してきたら引き抜く。

映像を見る

2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



⚠ 注意

- microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れしないでください。データが正常に読み取れなくなるとビューワソフトが起動しなくなります。

3) microSDHC カード内のビューワソフトを起動し、再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。



HDRviewer3.exe
HDRviewer3.exe
COMTEC

再生画面



アドバイス

- ビューワソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。
- 映像の再生中に microSDHC カードをパソコンから取り出すとビューワソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューワソフトを終了させてから microSDHC カードの取り出しを行ってください。

①	撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑱ 【先頭】 ボタン 現在再生中の動画の最初に戻る
②	現在の再生位置を表示	⑲ 【前】 ボタン 現在再生中の1つ前のファイルに戻る
③	加速度を数値で表示。 またチェックボックスの ON/OFF で加速度グラフへの表示 / 非表示を選択	⑳ 【再生 / 一時停止】 ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる
④	再生データの録画日時を表示	㉑ 【スロー】 ボタン 再生速度を 1/2 にする ※早送りボタンで通常再生に戻ります
⑤	録画サイズおよび画質の設定内容を表示	㉒ 【早送り】 ボタン 早送り再生を行う ※再度押すと2倍速から4倍速に切替え ロー再生で通常再生に戻ります
⑥	録画データの録音設定内容を表示	㉓ 【次】 ボタン 現在再生中の1つ次のファイルに進む
⑦	GPS の受信状態を表示 ※ HDR-352GH のみ	㉔ 【静止画】 ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で1枚のみ保存する
⑧	自車の走行速度を表示 ※ HDR-352GH で GPS 受信時のみ表示	㉕ 【動画】 ボタン 選択した録画データを結合し、1つのファイルとして保存する
⑨	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.... 前後の加速度 (X 軸) 赤線.... 左右の加速度 (Y 軸) 紫線.... 上下の加速度 (Z 軸) 【G】.... 衝撃を検出した場所 【M】.... スイッチ操作を検出した場所 【P】.... 駐車監視中に衝撃を検出した場所 【▲】.... 急加速を検出した場所 【▼】.... 急減速を検出した場所 【★】.... 急ハンドルの検出した場所 【※】.... 緊急録画停止を検出した場所 ※車速アラーム設定で選択した速度を超過した区間を赤に色付け (HDR-352GH のみ)	㉖ 【拡大】 ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を2倍または3倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する
⑩	Google マップを表示 ※ HDR-351H、GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示	㉗ 【参照】 ボタン 録画データの参照先を変更する
⑪	最小化ボタン	㉘ 【削除】 ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する
⑫	映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の3段階)	㉙ 【設定】 ボタン ビューワソフトの表示設定およびバージョン情報の表示を行う
⑬	ビューワソフトを終了する	㉚ 【CSV】 ボタン 録画データをリスト化し、CSV形式で出力する (⇒P38)
⑭	現在表示しているファイルの場所を表示	㉛ 車両情報を表示 (⇒P44)
⑮	各映像種類のチェックボックスの ON/OFF で、ファイルリストへの表示 / 非表示を選択	㉜ ※ OBD IIアダプターで接続したレーダー探知機と相互通信接続状態での記録映像のみ
⑯	録画データのフォルダーリストおよび各フォルダーに記録されている映像種類をアイコンで表示 (⇒P38)	㉝ ビューワソフトの音量を変更する
⑰	録画データのファイルリストを表示	

HDR-351H はレーダー探知機と相互通信接続を行うことで、⑦⑧⑨⑩の GPS に関する表示を行うことができます。

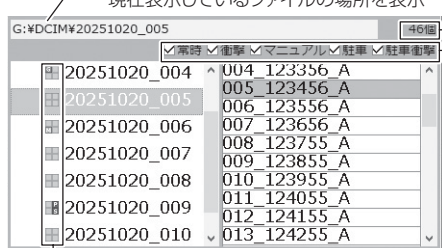
映像を見る

録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

■ファイルエリア

現在表示しているファイルの場所を表示



選択中のフォルダー内のファイル数を表示

チェックボックスのON/OFFを行うことで表示/非表示を選択

<input type="checkbox"/>	004_123356_A
<input type="checkbox"/>	005_123456_A
<input type="checkbox"/>	006_123556_A
<input type="checkbox"/>	007_123656_A
<input type="checkbox"/>	008_123755_A
<input type="checkbox"/>	009_123855_A
<input type="checkbox"/>	010_123955_A
<input type="checkbox"/>	011_124055_A
<input type="checkbox"/>	012_124155_A
<input type="checkbox"/>	013_124255_A

フォルダ内に記録されているイベントデータを表示

- 常時録画データのみ表示
- 衝撃録画データを表示
- マニュアル録画データを表示
- 駐車監視常時録画データを表示
- 駐車監視衝撃録画データを表示

CSV 出力について

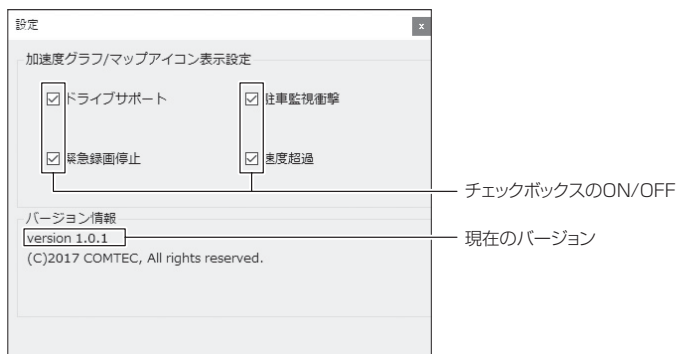
録画データの [ファイル名 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / 録画サイズ / 画質 / フレームレート / データサイズ] をリスト化して CSV 形式で出力します。

表示設定について

- 1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押します。



- 2) [ドライブサポート / 緊急録画停止 / 駐車監視衝撃 / 速度超過] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへの表示または非表示にすることができます。



映像を見る

パソコンで録画データを保存 / 削除する

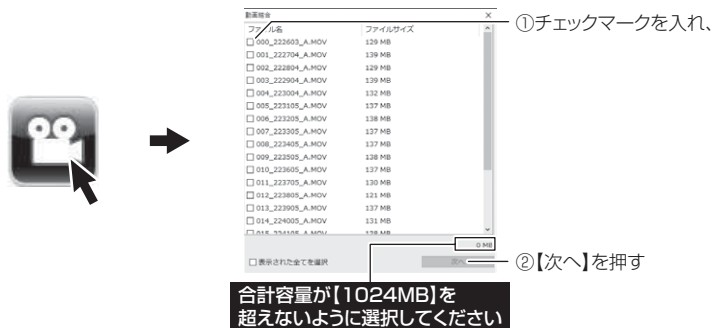
ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

録画データを連結して保存する

- ・本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。
 - ・動画の連結は連続したデータのみ保存する事ができます。
 - ・最大で1GB(1024MB)まで連結することができます。ただし1GB以内でも、100ファイルを超えて連結することはできません。
- ※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

1) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



2) 動画を保存するフォルダーを指定し、【保存】を押す。



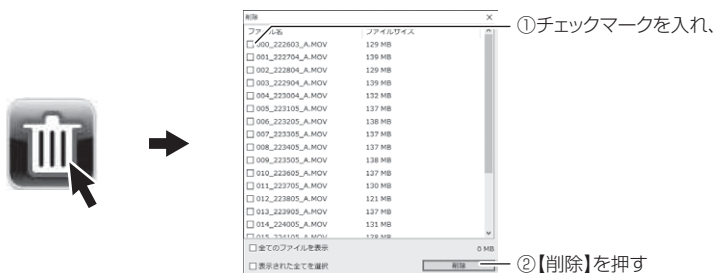
録画データを静止画で保存する

- 1) ビューソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。



録画データを削除する

- 1) ビューソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



映像を見る

地図表示について【対応機種：HDR-352GH】

- Google マップはインターネット接続時および速度情報がある場合に表示されます。
 - 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル検出・ドライブサポート・緊急録画停止検出・速度超過検出の位置が表示されます。
 - 表示設定(⇒P37-㊸、P39)でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。
- GPS の受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、付属のビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードしてご使用ください。※変更内容により対応できない場合があります。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン		速度超過検出アイコン
	急加速アイコン (ドライブサポート)		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)		急ハンドルアイコン (ドライブサポート)
	緊急録画停止検出アイコン				

👉 アドバイス

- ・ 地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ・ ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

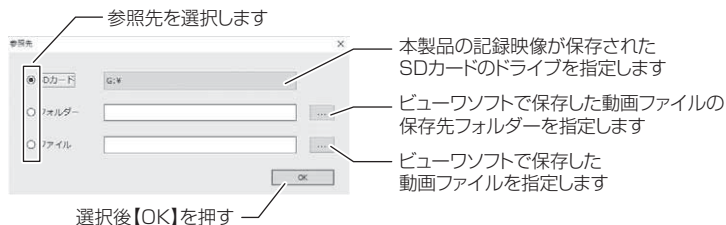
※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

保存ファイルを開く

- 1) ビューワソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見ることができます。



アドバイス

パソコンに保存したデータ (MOV ファイル) を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化した microSDHC カードのみ、【SD カード】を選択して SD カードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

映像を見る

車両情報を表示する

ビューワソフトの【車両情報】ボタンを押すことで車両情報をメーターで表示することができます。

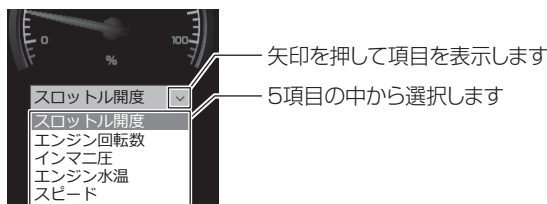
※ OBD IIアダプターで接続したレーダー探知機と相互通信接続状態での記録映像のみ表示を行います。(⇒ P61)

※ 接続する車両により記録できる情報は異なります。詳しくは弊社ホームページのOBD IIアダプター適合表をご確認ください。

1) ビューワソフトの【車両情報】ボタンを押す。



2) 表示項目を変更する。



ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

👉 アドバイス

- ・弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

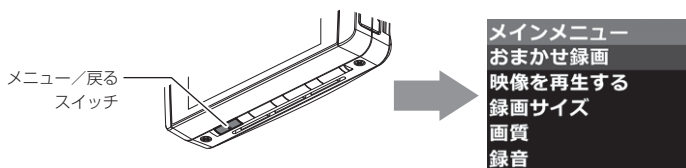
設定方法

本製品のシステム設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

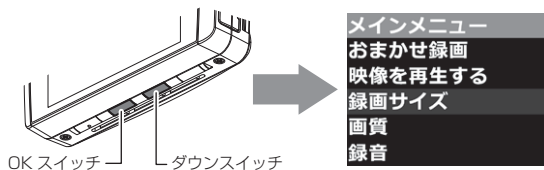
設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【FullHD】に設定変更するには・・・

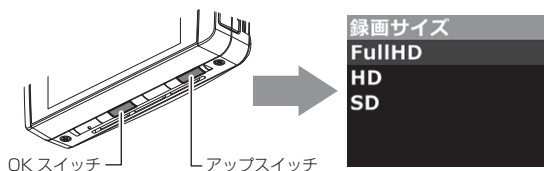
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、[メインメニュー]を表示する



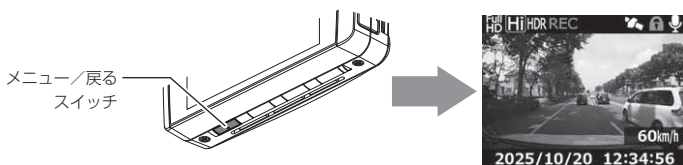
2. 【ダウン】を2回押して [録画サイズ] を選択し、【OK】を押す



3. 【アップ】を1回押して [FullHD] を選択し、【OK】を押す



4. 【メニュー/戻る】を押し、設定モードを抜けると録画モードに戻ります
・続けて別項目を設定することもできます。



設定

設定内容一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
おまかせ録画	キレイ / ロング / おすすめ	—	
録画サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)	HD (1280 × 720)	
画質	高画質 / 低画質	高画質	
録音	OFF/ON	ON	
イベント 録画領域	10% / 20% / 30%	20%	
上書き禁止	OFF/ イベント / ALL	OFF	
G センサー	OFF/0.1G ~ 1.0G	0.6G	前後 / 左右 / 上下 それぞれ設定可能
日時設定	年月日 時分秒	—	詳細設定は P14 を参照
タイムスタンプ	OFF/ON	OFF	
緊急録画停止	OFF/1.1G ~ 2.0G	1.5G	
かんたんスイッチ	再生 / 録画 / 録音 / 駐車	再生	[駐車] については P57 を参照
駐車監視衝撃感度	高 / 中 / 低	中	
車速アラーム 【対応機種 : HDR-352GH】	OFF/10km/h ~ 140km/h	OFF	10km/h 単位
画像補正	HDR/WDR	WDR	
カメラ輝度調整	明るい / 標準 / 暗い	標準	
液晶明るさ	明るい / 標準 / 暗い	標準	
液晶表示	HDR-351H: OFF/30 秒 / ON	30 秒	・機種により設定内 容が異なります ・詳細設定は P52 を参照
	HDR-352GH: OFF/ 速度連動 / ON/ 時計	速度連動	
ドライブ サポート	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
本体音量	OFF/1 ~ 10	5	
パスワード	OFF/ON (任意の 4 桁英数字)	OFF	
設定の初期化	—	—	詳細は P55 を参照
SD カードの初期化	—	—	
工場出荷状態に戻す	—	—	
Ver 情報	—	—	

おまかせ録画設定

- ・【録画サイズ】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。

■設定内容

設定	キレイ	ロング	おすすめ
録画サイズ	FullHD	SD	HD
画質	高画質	低画質	高画質

録画サイズ設定

- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD (1280 × 720)】に設定されています。

画質設定

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。

録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかの [OFF/ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

イベント録画領域設定

- ・イベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【20%】に設定されています。
- ※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。
- ※ イベント録画領域設定を変更すると、変更前に記録されたすべての録画データが常時録画データに切替わります。

■microSDHC カード容量によるイベント録画件数


設定	microSDHC カード容量			
	4GB	8GB	16GB	32GB
10%	5 件	10 件	20 件	40 件
20%	10 件	20 件	40 件	80 件
30%	15 件	30 件	60 件	120 件

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

設定

上書き禁止設定

- ・録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF/ イベント /ALL] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	 すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	
イベント	 イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	録画を停止
ALL	 すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時は【0.6G】に設定されています。運転状況に合わせて調整ください

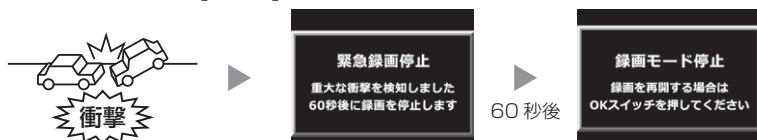
タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



⚠ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDHC カードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

👉 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

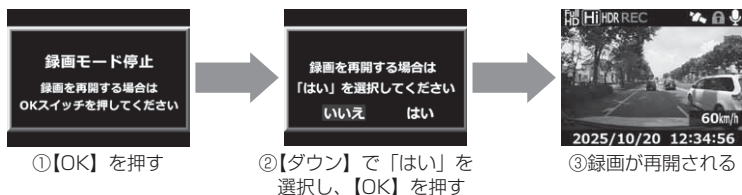
そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで 3 分に一度ブザー音でお知らせします。



設定

かんたんスイッチ設定

- ・かんたんスイッチの動作内容を [再生 / 録画 / 録音 / 駐車] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【再生】に設定されています。

[再生].....最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生します。(⇒P33)

[録画].....マニュアル録画を行います。

[録音].....一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

[駐車].....別売オプションの HDROP-05 「駐車監視・直接配線ユニット」を使用し車両へ接続している場合、本製品の駐車監視機能を使用できます。(⇒P56)

また【駐車】に設定することで、【駐車監視衝撃感度設定】(⇒P57)が設定メニューに表示されます。

アドバイス

【録音】 設定について

- ・録音設定にすると、かんたんスイッチを押すたびに ON/OFF が切替わります。
- ・かんたんスイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】(⇒P47)で選択した設定に戻ります。

【駐車】 設定について

駐車監視・直接配線ユニットを接続しないで設定を行っても、エンジン停止後は電源供給が無いため録画を行えません。

車速アラーム設定【対応機種：HDR-352GH】

- ・設定画面で [OFF/10 ~ 140km/h] から選択し設定することで設定した速度を超えた場合にアラーム音で警告を行ないます。また、警告後 1 分間は再アラームを行ないません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

■警告内容

運転状況	アラーム内容
速度超過	チャイム音♪ (キンコン) ×3

画像補正設定

- ・本製品には HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 機能と WDR (ワイド・ダイナミック・レンジ) 機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・HDR に設定した場合、複数の明暗の違う画像を合成することで、白とびや黒つぶれを補正します。
 - ※ 画像は鮮明に見えますが、光などの影が二重に記録されます。
- ・WDR に設定した場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明度を平均的に補正し記録を行います。
 - ※ HDR 機能に比べ、鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。
- ・お買い上げ時は【WDR】に設定されています。

👉 アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

カメラ輝度調整設定

- ・撮影映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

設定

液晶表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を次の中から選択することができます。
HDR-351H.....[OFF/30秒/ON]
HDR-352GH....[OFF/速度連動/ON/時計]
- ・お買い上げ時は下記のように設定されています。
HDR-351Hは【30秒】、HDR-352GHは【速度連動】

■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー/戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを30秒間表示し、消灯します。
- [30秒]起動時やメッセージ表示時、本体の操作を行った際など、液晶表示を30秒行い、その後消灯します。
- [速度連動]起動後速度10km/h以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切り替わります。停車後も非表示のままとなりますが、【メニュー/戻る】スイッチを押すことにより、次回10km/h以上で走行するまでの間、表示を行います。
- [ON]液晶ディスプレイを常に表示します。
- [時計]時計とカレンダーを常に表示します。

👉アドバイス

速度連動設定について (HDR-352GH)

- ・起動時は液晶ディスプレイを常に表示し、GPSを受信するまでの間、液晶ディスプレイを表示します。
- ・速度10km/h以上で走行し液晶ディスプレイが消灯する際は、メッセージ画面を表示し、消灯します。また走行中に【メニュー/戻る】スイッチを押した際もメッセージ画面を表示し、消灯します。

走行中は液晶表示を
OFFにします

ドライブサポート設定

- ・[アラーム]または[音声]に設定すると、急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出時に、アラーム音または音声でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動してONになります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ G センサーの設定が 0.3G 以下の場合はお知らせしません。
- ※ 自車の走行速度が 30km/h 未満の場合は、急ハンドル時のアナウンスを行いません。（HDR-352GH のみ）

■【音声】設定時のアナウンス内容

運転状況	アナウンス内容
急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。

- ※ [アラーム] 設定時は効果音のみでお知らせします。

👉 アドバイス

- ・G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

- ※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

本体音量設定

- ・本体の確認音や再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。
- ※ 音量を OFF に設定してもメッセージ音はお知らせします。

設定

パスワード設定

- ・パスワードを設定することで、他人に録画データを見られないようにするなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。
 - ・パスワードを設定すると、設定メニューに入る際にパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
 - ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ パスワードを設定していると、かんたんスイッチ操作による「再生」操作も行うことができません。（録画）、録音操作は可能です）

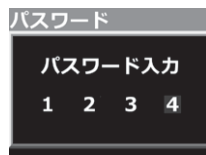
■設定方法

1) 【ダウン】で【ON】を選択し、【OK】を押す



2) 【アップ】【ダウン】で英数字を選択し、【OK】で決定する

※「*」が入ったままだと設定できません。



3) 2) を繰り返し4文字のパスワードを入力し【OK】を押すと、確認画面が表示されるので再度設定したパスワードを入力し【OK】を押すことで設定完了です。



パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

「パスワードが違います」と表示されるので、再度入力を行なってください。

【パスワード設定を解除する場合】

パスワードを入力して設定メニューに入り、パスワード設定画面で【OFF】を選択してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

パスワードの入力を5回失敗すると消去することができます。ただし、録画データもすべて消去され設定内容が初期化されてしまいますのでご注意ください。

設定の初期化

本製品の設定情報のみを初期化します。

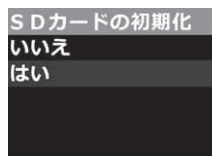
※ 設定の初期化を行うと、初期化前に記録されたすべての録画データが常時録画データに切替わります。

SD カードの初期化（録画データの消去）

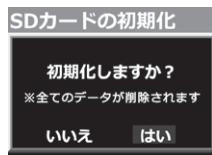
- ・microSDHC カードの録画データを消去し初期化を行います。
（初期化を行なっても本体の設定情報は保持されます）
 - ・新しいmicroSDHC カードや付属以外のmicroSDHC カードを使用する場合は、必ずSDカードの初期化を行なってください。
- ※ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ず事前にバックアップを行なってください。
- ※ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

■初期化方法

1) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】を押す



2) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】で
microSDHC カードが初期化されます



工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。



消去したデータを復元することはできません。

Ver 情報

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

駐車監視機能を使用する（オプション）

駐車監視機能について

- ・本製品は車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる駐車監視機能を搭載しています。
- ・駐車監視機能による〔駐車監視モード〕を使用するには、本製品を別売オプションのHDROP-05〔駐車監視・直接配線ユニット〕を使用し車両と接続してください。

HDROP-05〔駐車監視・直接配線ユニット〕を接続後、必ず本体の設定モードより〔かんたんスイッチ設定〕（⇒P50）を〔駐車〕に変更してください。接続しただけでは駐車監視機能は使用できません。

駐車監視・直接配線ユニットのディップスイッチの設定を、駐車監視・直接配線ユニット付属の取扱説明書裏面の〔連続動作設定例〕を参考に、設定を行なってください。〔連続動作設定例〕と同様の設定を行わないと、車両キースイッチ OFF 後に録画を行うことができません。

駐車監視・直接配線ユニット (HDROP-05)



■ディップスイッチの設定について

- ・〔1・5・6・7・8〕は OFF に設定してください。それ以外の設定に変更を行うと本製品の駐車監視機能が正常に動作しなくなります。
- ・〔2〕の停止電圧設定はお車の状況に合わせ、設定を行なってください。
- ・〔3・4〕は下記のお好みの内容に合わせ、設定を行なってください。

●4 時間連続動作



●8 時間連続動作



●12 時間連続動作



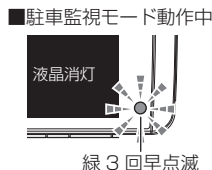
⚠ 注意

- ・駐車監視モード中は車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- ・駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モードの動作について

駐車監視モード中は通常時と一部動作が異なります。下記内容をご確認ください。

- ・液晶表示は【液晶表示設定】を [ON]（常時点灯）に設定していても、メッセージ表示時以外は消灯します。
- ・駐車監視モード中は LED ランプが**緑 3 回早点減**を繰り返し、衝撃を検出した際はゆっくりした緑点減に切り替わります。
- ・駐車監視モード中の衝撃録画データは [駐車監視衝撃録画] フォルダーへ保存されます。
※駐車監視モード中の常時録画データは通常の [常時録画] フォルダーに保存されます。
- ・駐車監視モード中に操作は行えません。かんたんスイッチを押して駐車監視モードを終了させてから操作を行なってください。



駐車監視衝撃感度設定

- ・駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を [高 / 中 / 低] の3段階から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【中】に設定されています。

駐車監視衝撃感度設定は [かんたんスイッチ設定] を【駐車】に設定すると表示されます。

駐車監視モードでの記録時間の目安

駐車監視衝撃録画データの記録件数はSDカードの容量により変わります。

容量	4GB	8GB	16GB	32GB
件数	5 件	10 件	20 件	40 件

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

駐車監視機能を使用する（オプション）

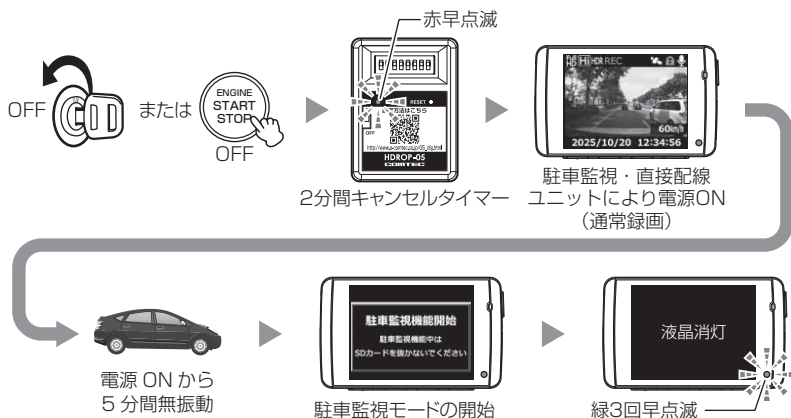
駐車監視モードに切替える

駐車監視モードへは自動または手動で切替えることができます。それぞれの切替方法に関しては下記をご参照ください。

※ 自動切替えのみ、手動切替えのみに設定することはできません。

自動で駐車監視モードに切替える

- 1) かんたんスイッチ設定を【駐車】に設定します。
 - 2) 車両キースイッチを OFF にすると、駐車監視・直接配線ユニットのキャンセルタイマーが2分間働き、その後ドライブレコーダーの電源が ON になります。
 - 3) 電源 ON から5分間本体に振動がない場合、駐車監視モードに切替わります。
- ※ 電源 ON から5分以内に振動を検出した場合は自動切替えはキャンセルされ、駐車監視・直接配線ユニットによる通常録画となります。



キャンセルタイマーとは

降車時の振動や衝撃などで不要な録画を行わない様に、駐車監視・直接配線ユニットや本体に設定されている時間の間は動作を行いません。

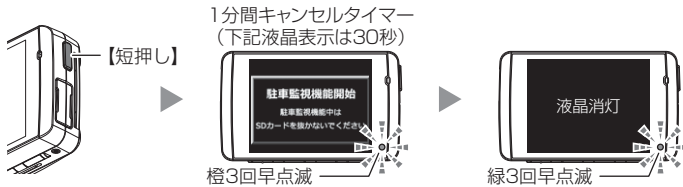
アドバイス

- ・ 振動が少ない車両などアイドリング状態でも、電源 ON から5分間振動を検出しなかった場合、駐車監視モードに移行します。
- ・ 振動の多い場所や風の強い日など本製品が衝撃を検出してしまい、自動切替えできないことがあります。その際は手動で切替えることをおすすめします。

手動で駐車監視モードに切替える

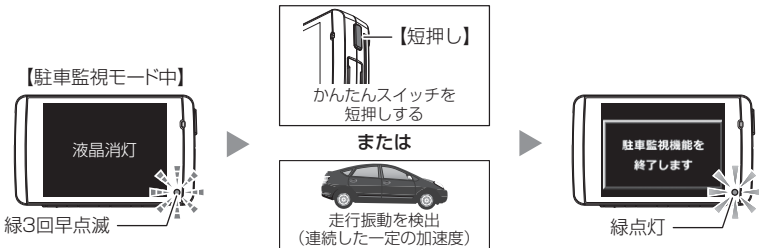
- 1) かんたんスイッチ設定を【駐車】に設定します。
 - 2) 録画モード中にかんたんスイッチを押すと、1分間本体のキャンセルタイマーが働き、その後駐車監視モードに切替わります。
- ※ キャンセルタイマー中はLEDランプが**橙3回早点滅**を繰り返します。

車両キースイッチ OFF 後は駐車監視・直接配線ユニットのキャンセルタイマーが2分間働き、その後駐車監視モードで起動し、録画を行います。



駐車監視モードを終了する

- ・ 駐車監視モードはかんたんスイッチを短押しすることで終了させることができます。また駐車監視モード中に車両キースイッチを ON にし、**車両の走行振動（連続した一定の加速度）を検出すると**、駐車監視モードは終了して通常の録画モードに切替わります。
- ・ 駐車監視・直接配線ユニットの【停止電圧設定】で設定した電圧以下に車両バッテリー電圧が低下した際や【オフタイマー設定】で設定した時間経過後は、電源供給がされなくなるため駐車監視モードは終了します。



駐車監視機能
を使用する

アドバイス

- ・ 本体を再起動しても、駐車監視モードは解除するまで継続されます。
- ・ 駐車監視モード中は、かんたんスイッチ以外の操作は無効となります。
- ・ 夏場など車内が高温になった場合は、高温注意のメッセージを表示して、一時的に録画を停止します。車内温度が下がり本体温度も下がると録画は再開されます。

駐車監視機能を使用する（オプション）

駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしてもドライブレコーダー本体は動作しています。

そのため microSDHC カードを抜く際は、必ず駐車監視・直接配線ユニットの電源スイッチを OFF にするか、本体から電源プラグを抜き **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）** が消灯したことを確認後、microSDHC カードを抜いてください。



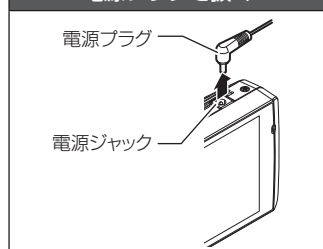
本体の駐車監視モードを終了しても、駐車監視・直接配線ユニットからの電源供給は継続されるため、必ず駐車監視・直接配線ユニットの電源スイッチの OFF または本体から電源コードを抜いたうえで、microSDHC カードを抜いてください。

駐車監視・直接配線ユニットの
電源スイッチを OFF にする



または

ドライブレコーダー本体から
電源プラグを抜く



レーダー探知機と接続する

相互通信機能とは

本製品と弊社相互通信対応レーダー探知機を、別売オプション ZR-13/ZR-14「ドライブレコーダー相互通信ケーブル」で接続することで、本製品への電源供給、レーダー探知機への映像 / 音声信号や操作信号、GPS 情報や OBD II 情報の通信が可能になります。

本製品への電源供給

レーダー探知機から本製品へ電源が供給されるため、付属のシガープラグコードなどで本製品の電源を取る必要がありません。

※ 一部アイドリングストップ車で、エンジン再始動時に電圧が著しく低下する車両の場合、本体の誤動作を防ぐため電源を遮断します。そのような車両の場合、付属のシガープラグコードと併用してご使用ください。

GPS 情報の取得

- ・レーダー探知機の GPS 情報を取得し、自車の走行速度や位置情報を録画データとともに記録します。
- ・日時情報も GPS により自動で設定・補正を行います。
- ・記録された走行速度や位置情報は専用ビューワソフトで確認することができます。

車両情報の取得

レーダー探知機を別売オプションの OBD II アダプターで接続している場合は車両情報も録画データとともに記録します。(⇒ P44)

レーダー探知機の液晶ディスプレイで映像の確認

レーダー探知機の液晶ディスプレイで録画中の映像や記録したデータの確認が行えます。

※ ドライブレコーダーの液晶画面は非表示となります。

レーダー探知機で本製品の操作

設定操作やマニュアル録画など、本製品の操作をレーダー探知機で行うことができます。

※ かんたんスイッチを除く

レーダー探知機と接続する

レーダー探知機との接続

1) ドライブレコーダー相互通信ケーブルを差し込みます。

例) ZERO702V と接続する場合

※車両キースイッチを OFF (電源を OFF) にした状態で接続を行なってください。



⚠ 注意

- ・配線が引っ張られた状態で配線の取回しを行うと、断線や接触不良により電源が不安定になる可能性があります。配線は余裕を持たせた取回しを行なってください。
- ・コネクタには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。 **コネクタ端子形状**
またレーダー探知機の電源ジャックも向きがあるためご注意ください。

一部レーダー探知機との接続について

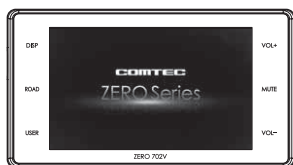
本製品と一部レーダー探知機 (ZERO 702V/ZERO 802V/ZERO 802M) を相互通信接続して使用する場合、レーダー探知機のシステムバージョンによっては一部相互通信機能が使用できない場合があります。

弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) の案内をご確認頂き、レーダー探知機のシステムバージョンが最新バージョンでない場合は、更新を行なってください。

⚠ 注意

相互通信接続を行う場合は、必ず専用の配線をご使用ください。市販のケーブルや改造したケーブルを使用すると、製品の破損や発火のおそれがあります。

2) エンジンを始動後、レーダー探知機本体の電源を ON にしてドライブレコーダーが起動することを確認します。



初期チェック中(橙点滅)

- 3) レーダー探知機の待機画面を**長押し**してメインメニュー画面を表示させる。

リモコン  を**長押し**する






- 4) 【機能設定】をタッチする。

リモコン  /  で項目を変更する




- 5) 【▲】【▼】をタッチし、【外部入力機器設定】を表示させ【ドラレコ】をタッチします。

リモコン  /  で選択し、 で決定する





- 6) 【戻る】を**長押し**して待機画面に戻ります。

リモコン  を**長押し**して待機画面に戻る

・【戻る】をタッチ（リモコンでは  を短押し）すると一つ前の画面に戻ります。



- 7) レーダー探知機の【VOL+】または【VOL-】スイッチのどちらかを**長押し**してドライブレコーダーの画面が表示されることを確認します。

リモコン  または  を短押しする



ドライブレコーダー
操作スイッチ

レーダー探知機
と接続する

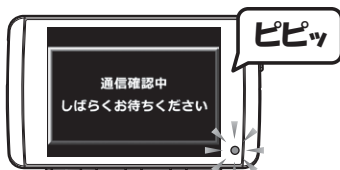
アドバイス

相互通信中はドライブレコーダーの液晶は非表示になり、LED ランプが橙点滅から緑点灯に変わると録画が開始されます。

レーダー探知機と接続する

相互通信の確認をする

- 1) エンジンを始動後、レーダー探知機本体の電源を ON にしてドライブレコーダーが起動することを確認します。



初期チェック中(橙点滅)

- 2) レーダー探知機にドライブレコーダーの画面が表示され、ドライブレコーダーの液晶が消灯(緑 LED 点灯)することを確認します。画面上のアイコン欄に相互通信アイコンと GPS 受信アイコンが表示されます。

レーダー相互通信アイコンと
GPS受信アイコン



緑点灯

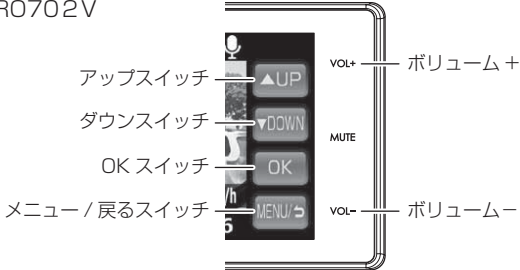
👉 アドバイス

- ・レーダー探知機の外部入力機器設定を [ドラレコ] に変更してください。
- ・ドライブレコーダーの音声は、本体とレーダー探知機の双方から出力されますので、本体の音量設定とレーダー探知機の外部入力音声設定で調整を行なってください。
- ・HDR-351H は、レーダー探知機と相互通信を行うことで GPS 受信アイコンと速度が表示されます。

レーダー探知機での操作方法

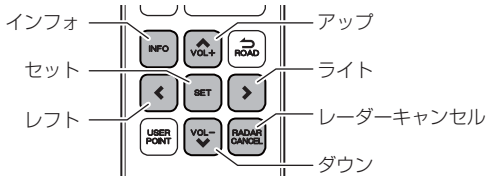
■レーダー探知機のタッチパネルで操作する

例) ZERO702V



表示画面	スイッチ操作	内容	
レーダー探知機	ボリューム +/-	短押し	レーダー探知機の音量設定
		長押し	ドライブレコーダー画面に切替え
ドライブレコーダー	ボリューム +/-	短押し	外部入力音量設定
		長押し	レーダー探知機画面に切替え
ドライブレコーダー (レーダー警報中)	ボリューム +/-	短押し	レーダー探知機の音量設定
		長押し	—

■レーダー探知機のリモコンで操作する



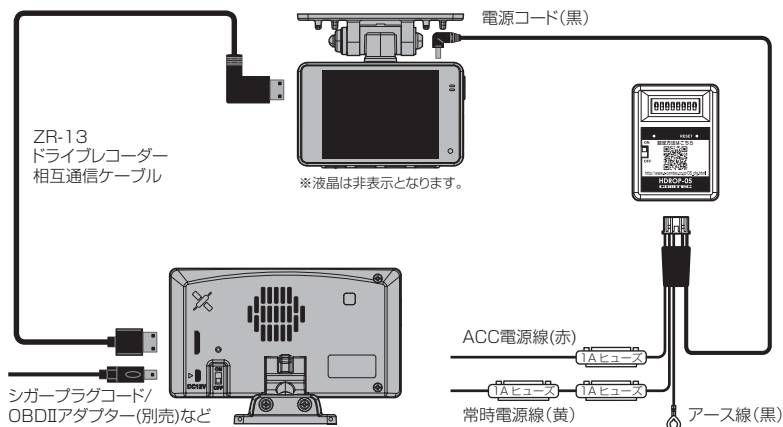
リモコンスイッチ	ドライブレコーダー操作内容
インフォ	メニュー/戻るスイッチ
アップ	アップスイッチ
セット	OK スイッチ
ダウン	ダウンスイッチ
レフト	レーダー探知機 / ドライブレコーダー画面へ切替え
ライト	レーダー探知機 / ドライブレコーダー画面へ切替え
レーダーキャンセル	外部入力音量設定画面を表示 ※ 表示後にボリューム +/- で音量設定

レーダー探知機と接続する

相互通信と駐車監視・直接配線ユニット

- HDROP-05「駐車監視・直接配線ユニット」と同時接続する場合は、本製品とレーダー探知機を「ドライブレコーダー相互通信ケーブル」で接続したうえ、本製品の電源ジャックへ HDROP-05 を接続してください。
 - エンジンが停止すると、レーダー探知機からの電源供給が止まり、駐車監視・直接配線ユニットによる2分間のキャンセルタイマーの後、電源の供給が開始されます。
- ※ HDR-352GHP（駐車監視・直接配線ユニット同梱モデル）は、オプションの HDROP-05 を購入する必要はありません。

接続全体図 ※ ZERO702V の場合



⚠注意

- ・配線が引っ張られた状態で配線の取直しを行うと、断線や接触不良により電源が不安定になる可能性があります。配線は余裕を持たせた取直しを行なってください。
- ・コネクターには向きがあるため、無理に差込むと破損します。 **コネクター端子形状**
またレーダー探知機の電源ジャックも向きがあるためご注意ください。

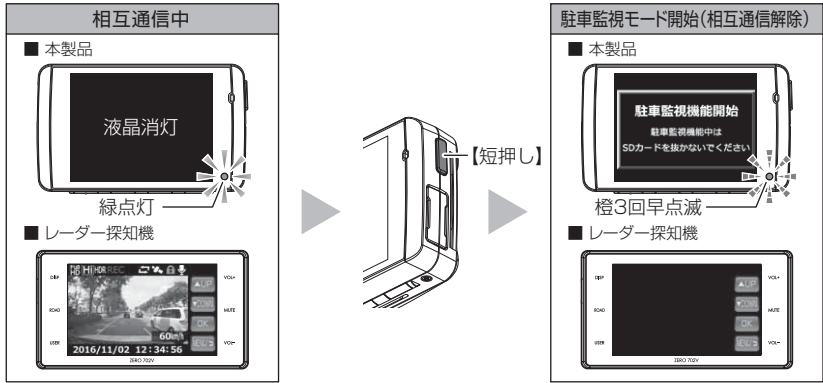
コネクター端子形状



動作確認する

- 1) エンジン始動中に本製品のかんたんスイッチを押して、駐車監視モードに切替えます。

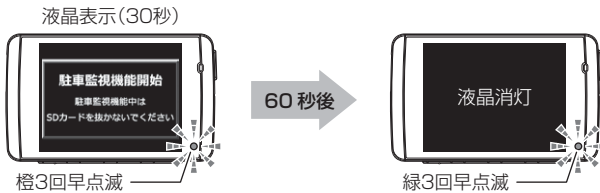
・レーダー探知機の液晶画面に映し出されていた本製品の表示が消え、ドライブレコーダーの液晶画面に表示が切替ります。



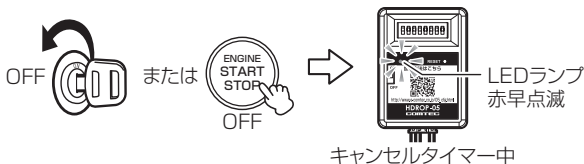
レーダー探知機の液晶画面に
本製品の画面を表示

本製品の液晶画面に表示が
切り替わる

- 2) 駐車監視モードの開始画面が表示され、60秒後に駐車監視常時録画が開始します。駐車監視モードの開始画面は30秒で消灯します。



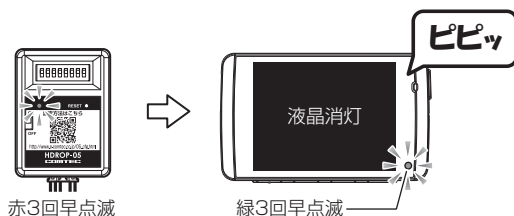
- 3) エンジンを停止して駐車監視・直接配線ユニットのLEDランプが赤点滅することを確認し、2分間のキャンセルタイマー終了を待ちます。



レーダー探知機
と接続する

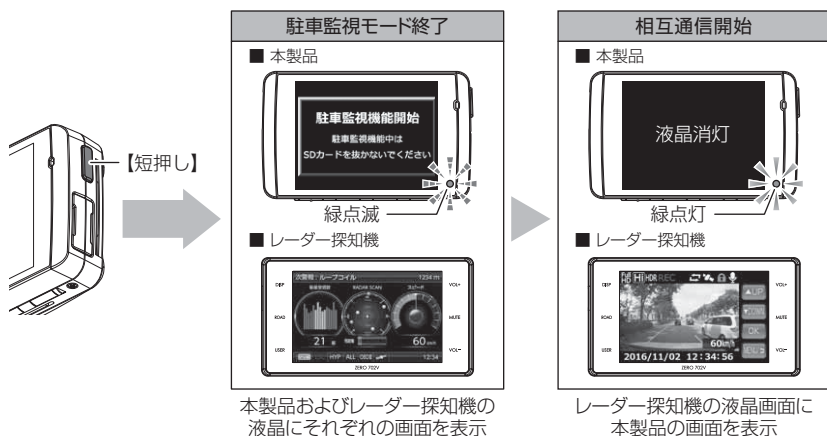
レーダー探知機と接続する

- 4) キャンセルタイマー終了後 LED ランプが緑 3 回早点滅し、駐車監視モードへ切り替わっていることを確認します。



始動確認する

- 1) エンジンを開始し、レーダー探知機を起動します。
- 2) かんたんスイッチを押すと駐車監視モードの終了画面が表示されます。
- 3) 本製品の液晶画面が消灯し、レーダー探知機との相互通信が開始されることを確認します。



よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？ ● シガープラグコードが接触不良や断線などしていませんか？ 	— 13 ページ
GPS 衛星を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> ● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● 本体カメラ側に電波を遮断する物がありますか？ 	6 ページ 15 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。	41 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] および [画質] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	26,47 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ● イベント録画データ（衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃）は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。 	27 ページ 48 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	● microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 2 ~ 3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。	7 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none"> ● microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSDHC カードの初期化を行なってください。 	5 ページ 7 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSDHC カードがパソコンで認識されない	● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
ビューワソフトが起動しない	● microSDHC カードに不要なデータや破損ファイルがあるとビューワソフトが起動しなくなります。必要なデータをパソコンに保存してから、本体で microSDHC カードをフォーマットしてください。	35 ページ

付 録

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

■本体 LED 表示

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時		
緑 3 回早点滅	監視中	駐車監視機能による録画中
橙 3 回早点滅	録画停止	降車キャンセルタイマー中
緑点滅	録画中	駐車監視機能による衝撃録画中

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを 確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSDHC カードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試してください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
SD カードの初期化を 行なってください	新しい microSDHC カードや本体で読み込みができない時に表示されます。microSDHC カードをパソコンでフォーマットを行う、または本体で初期化を行なってください。
高温注意 本体温度が下がるまで 録画を停止します	本体の使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
上書き禁止 録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、パソコンで録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して 再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。
フォルダーがいっぱいになり ました SD カードを交換してください	本機で 1 日に作成できるフォルダー数の上限に達した場合に表示されます。別の microSDHC カードを使用するか、必要なデータをパソコンに保存し、microSDHC カードをパソコンでフォーマットを行う、または本体の設定メニューから初期化を行なってください。(⇒ P28,55)
パスワードが違います	パスワードが間違っています。正しいパスワードを再度入力してください。
しばらくお待ちください	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。処理が終了するまでしばらくお待ちください。 ※状況により数分かかる場合があります。
書き込み速度が低下しています 必要なデータを保存の上 SD カードの初期化を 行ってください	microSDHC カードの断片化が進み、書き込み速度が低下した際に表示されます。必要なデータをパソコンに保存し、microSDHC カードをパソコンでフォーマットを行うか、本体の設定メニューから初期化を行なってください。(⇒ P8,55)
日時がリセットされました 日時を再設定し、1 時間程度走行して バッテリーの充電を行ってください 症状が改善しない場合は、 バッテリーの交換を行ってください	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報リセットされた際に出るメッセージです。1 時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行なってください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10 秒後に自動再起動します	機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

付 録

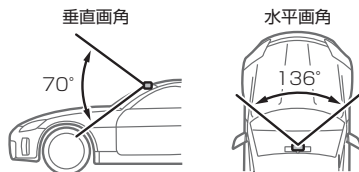
製品仕様

項目	HDR-351H	HDR-352GH	
電源電圧	12V/24V		
最大消費電流	300mA 以下		
動作温度範囲	-10℃～60℃		
カメラ	撮像素子	1/2.7型 CMOS センサー	
	総画素数	200万画素	
	有効画素数	最大200万画素	
	レンズ画角	水平 136° 垂直 70° (対角 168°)	
	F 値	F2.0	
	レンズ材質	ガラス	
	最低照度	2LUX	
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720) SD (640 × 360)		
録画画質	FullHD	高画質 (平均 10Mbps) 低画質 (平均 6Mbps)	
	HD	高画質 (平均 6Mbps) 低画質 (平均 3Mbps)	
	SD	高画質 (平均 4Mbps) 低画質 (平均 2Mbps)	
GPS	なし	あり	
G センサー	あり (0.1G～1.0G : 0.1G 単位で設定可)		
バックアップ電源	あり (スーパーキャパシタ)		
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画 / マニュアル録画 [手動録画])		
録画ファイル構成	1分単位		
音声録音	ON/OFF 可能		
フレームレート	29fps 注 1		
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)		
記録映像再生方法	専用ビューソフト ※ Windows 7/8.1/10 専用 (タブレット PC 除く)		
	ビデオ出力 (別売 : AV ケーブル [HDRP-10] が必要) 本体液晶		
記録媒体	microSDHC カード (付属 : 8GB/class10) 4GB～32GB 対応 class10 推奨		
液晶サイズ / 液晶解像度	2.7 インチフルカラー TFT 液晶 / 320 × 240		
本体サイズ (突起部除く)	82 (W) × 50 (H) × 27.6 (D) /mm		
	取付ステー装着時 : 82 (W) × 72.2 (H) × 27.6 (D) /mm		
本体重量	120g (取付ステー含む)		128g (取付ステー含む)

注 1. LED 信号機が消灯状態で記録されないようにフレームレートを調整済み。

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ カメラ画角イメージ



補償サービスについて

本製品には万が一の事故に遭われた際にお見舞金として登録から1年間、一律2万円を補償する補償サービスが付いています。

補償サービスを受ける場合下記手順に従い、登録、申請を行なってください。

1. 加入者リストへ登録する

本製品購入後、**1ヶ月以内**に付属の登録ハガキまたは弊社HPにて補償サービスを申し込み、加入者リスト登録を行なってください。**当日消印有効**

※ **1ヶ月以内に登録しなかった場合、補償サービスは受けられません。**

補償サービス登録ページ URL :

<http://www.e-comtec.co.jp/hosyou/recorder/index.html>

2. 事故に遭われた場合の申請方法

- 1) 下記必要書類を揃え、事故日より**2ヶ月以内**に弊社サービスセンターまで送付します。**当日消印有効**

※ **2ヶ月以内に送付しなかった場合や補償サービス提供期間前の事故は、補償サービスは受けられません。**

- ・ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書(P77または弊社HPよりダウンロード)
- ・警察の発行する事故証明書
- ・対象車両の修理見積書(事故日、見積発行日より**2ヶ月以内**)
- ・本製品の事故映像データまたは対象車両に本製品が装着されていたことがわかる資料(車種、ナンバーがわかる写真など)

- ・事故映像データは、付属microSDHCカードまたはビューワソフトにて保存された動画データをCD-RやDVD-Rなどの記録メディアにコピーしてお送りください。
- ・お送り頂いた書類、microSDHCカードや記録メディアなどの返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

- 2) 弊社にて書類を受付確認後、『ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書』に記載していただいた口座へお見舞金を振り込ませていただきます

👉 アドバイス

補償サービスの更新について

本補償サービスは登録から1年間有効です。また2年目からは有料で更新することができます。(1年ごとの更新。最長3年間)

ただし、一度でも補償サービスを受けられた場合は、更新を行うことができません。詳しくは弊社ホームページをご確認ください。

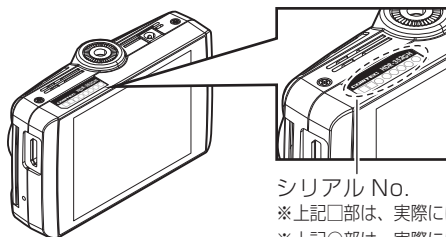
補償サービス

👉 アドバイス

本製品のシリアル No. 記載場所

補償サービスへ申し込む際に、パッケージまたは本製品に記載のシリアル No. を記入する必要があります。未記入の場合や誤った内容を記入されていた場合、補償サービスが受けられなくなりますので、間違えの無いようご注意ください。

■ 本体記載箇所

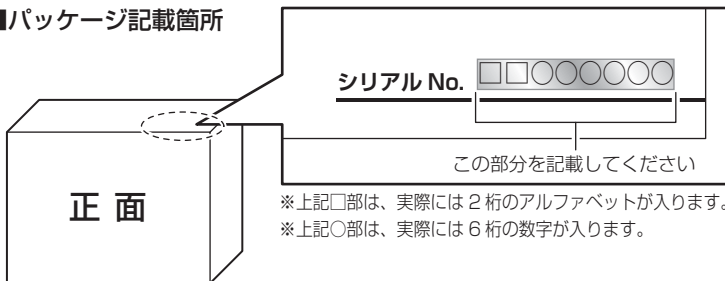


シリアル No.

※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

■ パッケージ記載箇所



※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

ドライブレコーダー補償サービス約款

第1条 (本規約の適用範囲)

この約款 (以下「本約款」といいます。) は、株式会社コムテックが提供する第4条 (本サービスの内容) 所定の約款を利用する際に適用されます。

第2条 (定義)

1. 「加入者様」とは、株式会社コムテックが販売するドライブレコーダーを購入し、所定の方法で株式会社コムテックの補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。
2. 「本サービス」とは、株式会社コムテックが加入者様に提供するドライブレコーダーの補償サービスをいいます。

第3条 (本サービスの対象自動車)

本サービスの対象となる自動車 (以下「対象自動車」といいます。) は、株式会社コムテックのドライブレコーダーを設置した自動車とします。

第4条 (本サービスの内容)

1. ドライブレコーダーを購入した加入者様が、ドライブレコーダーを設置した対象自動車を損傷する車両事故に巻き込まれた場合に見舞金を支給します。ただし、警察の発行する事故証明が取得できる事故に限ります。
●見舞金額：一律2万円
2. 本サービスの適用を受けるには、次の各号に該当しなければならないものとします。
 - (1) ドライブレコーダーを購入し、対象自動車に設置すること。
 - (2) 所定の方法で本サービス加入者リストに登録されること。
 - (3) 第2条第1項に記載の事項を満たしていること。
3. 加入者様が事故等により損害を被った対象自動車の修理を依頼し、かつ、「補償サービス利用依頼書」を株式会社コムテックに提出した場合に、加入者様は対象自動車に関して見舞金を受け取ることができます。
4. 本サービスを受けようとする場合、加入者様は次の資料を株式会社コムテックまで提出することとします。
 - (1) 補償サービス利用依頼書
 - (2) 警察が発行する事故証明書
 - (3) 対象自動車の修理見積 (事故日、見積有効日より2ヶ月以内)
 - (4) ドライブレコーダーの事故映像データ
 - (5) 対象のドライブレコーダーが装着されていたことの方の資料
※ (4)(5) は、いずれかの資料を提出してください。

第5条 (本サービスの提供期間)

本サービスの提供期間は本サービス加入者リスト登録日から1年後の応当日まで (以下、サービスの期日といいますが) とします。また、本サービス加入者リスト登録日は次のいずれかの日とします。

- (1) 専用の加入依頼ハガキにて登録する場合は消印の翌日 0時から
- (2) Web 経由にて登録する場合は Web 登録日の翌日 0時から
※原則、本サービス加入者リスト登録は製品の購入後1ヶ月以内に行わなければなりません。

第6条 (本サービスの提供回数)

1. 本サービスの提供は、サービス提供期間中のいずれか1回の事故に限るものとし、複数回の事故による損傷をまとめて修理する場合でも1回の事故による損傷のみが本サービスの提供対象となります。
2. 本サービスの提供は、ドライブレコーダー1台に対し1回のサービスとさせていただきます。一度、サービスを受けた加入者様は自動的に加入者リストの登録を抹消させていただきます。また、サービスの更新もできないものとさせていただきます。

第7条 (本サービスの更新)

1. 本サービスはmicroSDHCカードの購入に合わせて更新することができます。ただしサービスを受けた場合には、それ以降の更新は一切できないものとします。
2. 本サービスの更新は、最初の登録を含め3回までとします。
3. 更新の申込みはサービスの期日から前後1ヶ月以内に第5項の手続きをしてください。
4. 更新後の期日はサービスの期日からさらに1年後の応当日まで更新するものとします。
5. 更新の申込みは、株式会社コムテックの運営するWebサイトからのみ手続きが可能とさせていただきます。
6. 加入者様の更新手続き完了を株式会社コムテックが確認した時点で加入者様へ「更新手続き完了のご案内」と新しいmicroSDHCカードを送付させていただきます。
7. サービスの期日から1ヶ月を過ぎても更新の申込みがない場合、自動的に補償サービス加入者リストから登録を抹消させていただきます。

補償サービス

8. サービスの期日以降の事故につきましては、更新手続きが完了していない限り補償サービスの適用対象外とさせていただきます。

第8条（本サービスを行わない場合）

- 次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供期間中であっても本サービスの提供は行われません。
 - 警察への事故届けがない場合
 - 補償サービス利用依頼書、その他株式会社コムテックが求める資料の提出がない場合
 - 加入者様からご提出いただく書類等に知っている事実を記載しなかった、または、不実の記載がある場合
 - 事故等が発生した日から2ヶ月を経過した後に、株式会社コムテックへの事故等の通知がなされた場合、又は対象自動車の修理のために入庫がなされた場合
 - 対象自動車が日本国外において損害を被ったとき
 - 法令等により禁止されているにもかかわらず対象自動車に定着、または、装着されている物に生じた損傷、および、当該物に起因して生じた損傷
 - 直接、または、間接を問わず、次の事由によって対象自動車が損傷した場合
 - 加入者様、又は加入者様の許可を得て対象自動車を運転した者の故意、重大な過失、および、法令違反による事故の自動車の損傷
 - 地震、もしくは噴火又は津波その他の天災地変
 - 核燃料物質（使用済核燃料を含み、以下同様とします。）もしくは、核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他有害な特性の作用、または、これらの特性に起因する事故
 - 戦争・外国の武力行使・革命・政権奪取・内乱・武装反乱・その他類似の事変又は暴動（群集または、多数の者の集団行動によって全国、または、一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められた場合
 - 差押え、収用、没収、破壊など国又は公共団体の公権力の行使
 - 詐欺、または、横領
 - 取扱書等に示す方法と異なる使用、不適切な保管、通常の使用の限度を超える過酷な使用（レース・ラリー等による過酷な走行、エンジンの過回転、過積載等）、または、レース場での事故
 - 対象自動車に存在する欠陥、通常の使用損耗あるいは経年変化により発生する現象（消耗部品・油脂類の消耗、劣化、腐食、摩滅、錆び等。樹脂部品・塗装面・メッキ面等の自然の褪色、劣化、腐食、摩滅、錆び等）
 - 故障（偶然かつ外来の事故に直接起因しない電氣的、または、機械的損傷をいいます）
 - 法令により定められた運転資格を持たないで、または、酒酔い・酒気帯び、もしくは、大麻・大麻・アヘン・覚醒剤、シンナー等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態における対象自動車の運転による事故の自動車の損傷。
 - 加入者様の犯罪行為、または、闘争行為
 - 盗難などで加入者様の許可を得ないで対象自動車が運転された場合の事故

第9条（本約款の変更）

株式会社コムテックは、本約款を予告なくいつでも変更することができるものとします。この場合、変更日以降の本サービスの提供内容、および、提供条件は変更後の約款が適用されるものとします。

第10条（個人情報の取扱）

- 株式会社コムテックは、本サービスに関する加入者様の氏名、および、対象自動車に関する情報その他の個人情報（以下「個人情報」といいます）を、本サービスの引受判断、本サービスの履行の目的で利用し、当該目的に必要な範囲で書面、または、電子媒体により本サービスの提供に係る損害保険会社、および、保険代理店に第三者提供します。ただし、加入者様ご自身のお申出により、当該加入者様ご自身の個人情報の第三者提供を停止することができます。
- 株式会社コムテックは、業務委託先に個人情報を預託する場合は、個人情報を保護するための措置を講じたうえ預託します。
- 個人情報の開示、訂正、および、その他のお問合せに関しましては取扱説明書の裏面、および、パッケージ記載の株式会社コムテックサービスセンターまでご連絡ください。なお、お問合せに係る書面、および電話等の内容につきましては記録を行い保存させていただきます。

本約款は2014年6月1日から発効します。